

【基本事項】

性別	度数	有効パーセント
女性	65	67.0
男性	32	33.0
合計	97	100.0

異性との交際状況	度数	有効パーセント
交際している異性がいる	60	62.5
友人として交際している異性がいる	21	21.9
恋人として交際している異性がいる	41	42.7
交際している異性はいない	36	37.5
合計	96	100.0

未婚者の生涯の結婚意思	度数	有効パーセント
いずれ結婚するつもり	94	95.9
一生結婚するつもりはない	4	4.1
合計	98	100.0

結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方	度数	有効パーセント
ある程度の年齢までには結婚するつもり	67	72.8
理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない	25	27.2
合計	92	100.0

【年齢に関する項目】

	性別	N	平均値	有意確率(両側)	平均値の差
年齢	女性	63	20.3	0.965	-0.011
	男性	32	20.3		
結婚したい自分の年齢	女性	62	26.6	0.088	-1.137
	男性	28	27.8		
結婚したい相手の年齢	女性	61	28.3	0.044	1.482
	男性	28	26.8		
結婚相手との年齢差(自分の年齢 - 相手の年齢)	女性	61	-1.7	0.000	-2.609
	男性	28	0.9		

(参考：2008年度受講生)

	性別	N	平均値	有意確率(両側)	平均値の差
結婚したい自分の年齢	女性	31	27.6	0.659	-0.26
	男性	21	27.9		
結婚したい相手の年齢	女性	29	29.3	0.004	2.50
	男性	21	26.8		
結婚相手との年齢差(自分の年齢 - 相手の年齢)	女性	29	-1.8	0.000	-2.89
	男性	21	1.1		

(参考：2008年度受講生)

	ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない	合計
	27	25	52
女性	41.9	58.1	100
男性	66.7	33.3	100
合計	51.9	48.1	100

	ある程度の年齢までには結婚するつもり	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてかまわない	合計
	66	25	91
女性	75.4	24.6	100
男性	66.7	33.3	100
合計	72.5	27.5	100

	結婚への意志2	N	平均値	有意確率(両側)	平均値の差
結婚したい自分の年齢	ある程度の年齢までに	64	26.6	0.041	-1.366
	理想的な相手が見つかるまで	25	28.0		
結婚したい相手の年齢	ある程度の年齢までに	64	28.1	0.325	0.750
	理想的な相手が見つかるまで	25	27.3		
結婚相手との年齢差 (自分の年齢 - 相手の年齢)	ある程度の年齢までに	64	-1.5	0.008	-2.117
	理想的な相手が見つかるまで	25	0.6		

性別 × 結婚意志2	度数	有効パーセント
女性・ある程度	46	50.5
男性・ある程度	20	22.0
女性・理想の相手	15	16.5
男性・理想の相手	10	11.0
合計	91	100.0

	(I) 性別 × 結婚意志2	(J) 性別 × 結婚意志2	平均値の差 (I-J)	有意確率 (両側)
結婚したい自分の年齢	男性・理想の相手	女性・ある程度	2.4	0.022
結婚相手との年齢差 (自分の年齢 - 相手の年齢)	男性・理想の相手	女性・ある程度	5.2	0.000
		男性・ある程度	3.9	0.000
		女性・理想の相手	4.6	0.000

1. 結婚への道

1-1. 青年期の親密な関係（主に異性関係）

デートの機能と逆機能（ウォーラー[Waller, Willard]による）

青年期の交際（特に異性関係）においては、デートとコートシップがあり、デートからコートシップへという流れがある。

デートの時期に異性を見る目を養うってこと！？

デート[dating]：交際すること自体を愉しみ、相手も限定されず、関係の解消も自由

コートシップ[courtship]：結婚を目的とし、相手も限定されるが、それだけ責任と親密さを得る

デートという行為自体は、1920年代のアメリカにおいて都市部の大学生の間に発生した青年文化であったが、1930年代くらいから高校生にも広がり、今や日本でも当たり前になっている。

デートの機能：定位家族から生殖家族への第一歩

レクリエーション

仲間から一人前であるとされる地位の獲得

性別役割の学習

配偶者選択

デートの逆機能：

レクリエーション的な側面が強くなると、結婚への適応を阻害する

z.b. 「楽しければいい」「もっといい人がいるかもしれない」

日本での異性交際

元データ：第11・12・13回出生動向基本調査、結婚と出産に関する全国調査、独身者調査

調査の概要：出生動向基本調査は5年ごとに実施されている全国標本調査

調査期日：1997年6月1日、2002年6月1日、2005年6月1日

調査対象：全国の年齢18歳以上50歳未満の独身者を対象とした標本調査

調査票配布...12,553（1997年）/12,866（2002年）/12,482（2005年）票

有効票数...9,407（有効回収率74.9%、1997年）/9,686（75.3%、2002年）/8,734（70.0%、2005年）

未婚者の異性との交際

異性との交際	男性					女性				
	1987	1992	1997	2002	2005	1987	1992	1997	2002	2005
婚約者がいる	2.9	3.2	2.9	2.7	2.9	4.6	3.9	3.8	3.9	4.8
恋人として交際している異性がいる	19.4	23.1	23.3	22.4	24.3	26.2	31.6	31.6	33.1	31.9
友人として交際している異性がいる	23.6	19.2	15.3	11.3	14.0	25.4	19.5	15.9	12.4	12.9
交際している異性はいない	48.6	47.3	49.8	52.8	52.2	39.5	38.9	41.9	40.3	44.7
不詳	5.5	7.2	8.7	10.9	6.6	4.3	6.3	6.8	10.2	5.7

未婚者の生涯の結婚意思

生涯の結婚意思	男性					女性				
	1987	1992	1997	2002	2005	1987	1992	1997	2002	2005
いずれ結婚するつもり	91.8	90.0	85.9	87.0	87.0	92.9	90.2	89.1	88.3	90.0
一生結婚するつもりはない	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6
不詳	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3

結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方

年齢へのこだわり	男性					女性				
	1987	1992	1997	2002	2005	1987	1992	1997	2002	2005
ある程度の年齢まで	60.4	52.8	48.6	48.1	51.9	54.1	49.2	42.9	43.6	49.5
理想的な相手が見つかるまで	37.5	45.5	50.1	50.5	46.7	44.5	49.6	56.1	55.2	49.0

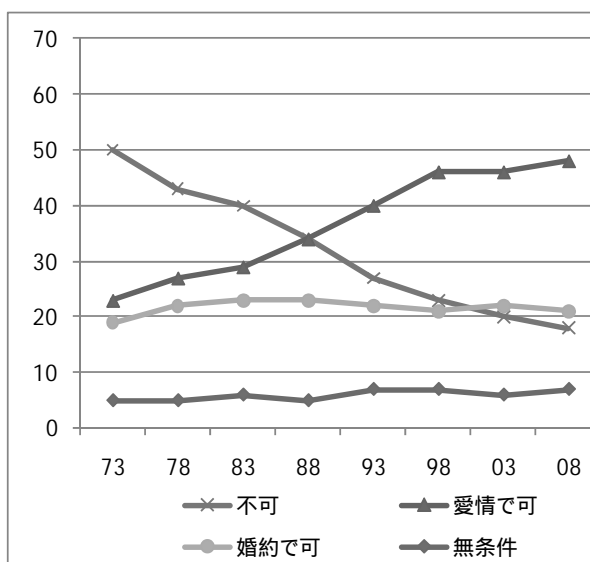
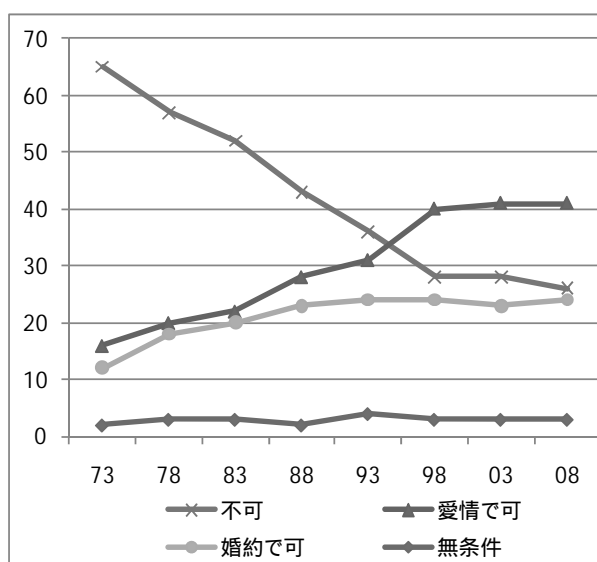
同棲経験

年齢	男性					女性				
	1987	1992	1997	2002	2005	1987	1992	1997	2002	2005
18-19	1.2	0.9	0.6	1.8	0.9	1.9	1.3	2.6	3.0	1.7
20-24	3.5	4.2	4.5	6.0	5.7	2.7	3.1	4.4	7.5	6.7
25-29	3.3	6.7	7.1	10.3	11.8	4.1	4.5	5.3	10.0	10.1
30-34	5.0	7.1	6.0	6.9	9.9	4.4	6.1	7.6	8.2	10.6
総数	3.2	4.5	4.8	6.7	7.9	2.8	3.1	4.6	7.6	7.3

性交経験率

年齢	男性					女性				
	1987	1992	1997	2002	2005	1987	1992	1997	2002	2005
18-19	24.3	25.1	31.9	33.3	31.5	17.4	20.7	28.2	32.3	31.8
20-24	52.7	54.8	60.0	60.1	57.5	31.9	42.0	52.0	55.7	54.2
25-29	66.6	71.3	70.6	69.3	66.0	40.0	46.7	58.3	64.8	60.4
30-34	68.3	72.3	71.3	71.0	64.3	38.8	49.8	61.3	62.8	55.0
総数	53.0	54.9	60.1	59.8	58.2	30.2	38.3	50.5	55.4	52.1

婚前交渉について



「婚前交渉について」は以下の本より作成。

N H K 放送文化研究所 2004 『現代日本人の意識構造[第六版]』 N H K ブックス。

1 - 2 . 配偶者の選択

配偶者選択への規範：内婚 - 外婚原理とは
 配偶者を選択する範囲は、社会的に規定されているということ

内婚[endogamy]原理：自分が所属している集団以外の者との結婚を禁止
 人種、民族、国家、階級など大きな集団に適用される

外婚[exogamy]原理：自分が所属している集団内のものとの結婚を禁止
 家族や氏族など比較的小さな集団に適用される

国際化、社会移動、空間移動などの活発化に伴い、これらの原理は縮小傾向にある

配偶者選択の傾向：同類婚と異類婚

同類婚[homogamy]：社会的文化的属性の似たもの同士を選択

異類婚[heterogamy]：異なった属性の相手を選択

属性[property; attribute]：人々を特徴づける、性別、年齢、学歴、職業、居住地などの情報の総称。自分で選択できるもの[achieved]と、出生や偶然に決定されているもの[ascribed]とがある。

学歴別同類婚指数（1988 厚生省人口問題研究所出産力調査から）

夫 \ 妻	中学校	高校	専修学校	短大・高専	大学以上
中学校	2.78	0.69	0.83	0.40	0.09
高校	0.66	1.32	1.02	1.10	0.78
専修学校	0.53	1.00	2.03	1.11	1.09
短大・高専	0.14	0.54	0.96	1.92	2.39
大学以上		0.22			3.49

注：同類婚指数とは、属性の組合せがランダムに行われると仮定した場合の、期待件数に対する実際の組合せの件数の比率。1よりも大きいと選好性が強い。

カツツ[Katz, Alvin M.]とヒル[Hill, Reuben]の規範 - 相互作用説

結婚の決定は、文化的に規制された結婚適格者の範囲内で行われる。すなわち個人の恣意にはまかされないという意味で、規範的である。

結婚への蓋然性は、適格者の範囲内における相互作用の蓋然性に直接的に影響される。

相互作用の蓋然性は、そのために要する距離と直接に関連する。

元データ：第 11・12・13 回出生動向基本調査、結婚と出産に関する全国調査、夫婦調査

出会ったきっかけ

	職場や 仕事で	友人・きよ うだいを通 じて	学校で	街中や旅 先で	習い事で	アルバ イトで	幼なじ み・隣人	見合い	不詳
1992	35.0	22.3	7.8	6.2	5.5	4.2	1.8	15.2	2.0
1997	33.6	27.1	10.4	5.2	4.9	4.6	1.5	9.6	3.0
2002	32.6	29.7	9.8	5.6	4.8	4.8	1.2	7.4	4.0
2005	29.9	30.9	11.1	4.5	5.2	4.3	1.1	6.4	6.8

出会い年齢、初婚年齢、交際期間の平均

	夫		妻		平均交際 期間	夫妻の平均 年齢差
	平均出会い年齢	平均初婚年齢	平均出会い年齢	平均初婚年齢		
1987	25.7	28.2	22.7	25.3	2.5	2.9
1992	25.4	28.3	22.8	25.7	2.9	2.6
1997	25.1	28.4	22.7	26.1	3.4	2.4
2002	24.9	28.5	23.2	26.8	3.6	1.7
2005	25.3	29.1	23.7	27.4	3.8	1.7

最終学歴別に見た出会い年齢、婚約年齢、初婚年齢、交際期間の平均(2002年調査)

	夫				妻			
	平均出 会い年齢	平均婚 約年齢	平均初 婚年齢	平均交 際 期間	平均出 会い年齢	平均婚 約年齢	平均初 婚年齢	平均交 際 期間
中学校	23.5	25.5	26.1	2.6	20.7	22.3	22.8	2.1
高校(共学)	24.5	27.1	27.8	3.3	21.9	24.6	25.3	3.4
高校(別学)	24.6	27.2	27.9	3.3	22.6	24.9	25.6	3.0
専修・短大	25.2	27.6	28.3	3.1	23.2	25.7	26.4	3.2
大学以上	26.4	28.9	29.7	3.3	23.8	26.5	27.4	3.6
総数	25.3		28.5	3.2	22.7		26.0	3.2